

6回の事例検討を通して見えてきた地域課題

資料 6

R4. 12. 12 足立区自立支援協議会 精神医療部会

第1回 「支援の幅が更に広げられたのではないかな？」

⇒「フォーマルな支援ばかり投入してしまったのではないかな？」

地域課題		7つの構成要素に分類
1-1	情報共有・活用の充実（基幹など）	地、人
1-2	エネルギーをそそげる場（スポーツ、図書館など）	社
1-3	理解してもらえ地域づくり	地
1-4	人材育成（中核＋つなぐ）	人
1-5	一緒に考えてくれるシステム（簡単に）	地、当、人
1-6	メンバー活用の仕組み（事例検討）	当、社
1-7	ピアサポーター同行（自立生活援助）	当、

第2回 「退院に向けてどこにバトンタッチできるかな？」

地域課題		7つの構成要素に分類
2-1	地域の中の相談の場	地、社、家
2-2	年齢のはざま	地、社
2-3	病院→地域へのつなぎ目	地、医、社
2-4	教育から近づいて来てほしい	人
2-5	子どもをかかえる家族の支援	家
2-6	ピア（思春期）（先輩）の人材バンク→セルフマネジメント	当、人
2-7	情報の交通整理…この場をどうやって作っていくか	地、
2-8	相互理解…分野（教育等）を超えた場をどうやって作るか	地、人

第3回 「地域移行へのつなぎ方が上手くいっていたかな？」

⇒「今後の関わり方をどうしていったらよいか？」

地域課題		7つの構成要素に分類
3-1	モニタリングの頻度・変更のタイミング	地
3-2	ホームヘルプの支給がスムーズに出来たらよかった	地
3-3	関係機関が顔の見える関係づくり（情報ネットワークの利用等）	地、医、人
3-4	医療とのつながり方	医
3-5	年度替わりの担当の引継ぎ方	人
3-6	障がい→介護へ切り替わる時期のつなぎ。意識して関わる	地、社
3-6	就労Bの特徴など一覧でわかるように	地
3-7	グループホーム等次々増える事業所の情報をどこでどうまとめるか	地
3-8	安定しているときにも会議が必要かも	医、人
3-9	福祉ケースワーカーや保健所等との関わり	人
3-10	社協のあったかサービス	社
3-11	休息目的でショートステイ等使える所が1か所しかない	地
3-12	色々なサービスをつないでいく仕組み	地、

第4回 「地域との関わりが薄い中、親亡き後、どうすればよいのか」
⇒「本人の意向をキャッチするためにはどうしたらよいのか」

地域課題		7つの構成要素に分類
4-1	医療中断の時に、訪問する医療	医
4-2	近所の方とのつながり	社、家
4-3	ピアサポートをどうやればいいのか	当
4-4	スタッフの養成をしなければ	当
4-5	足立区全体でピア体制	当
4-6	日中体験の場が欲しい	住
4-6	同行支援（できたらいい）	社
4-7	ショートステイの日中（都事業）	住、社
4-8	事例検討の場（共有の場が少ない）	人

第5回 「病識がない方をどう医療につなげていったらいいか」
⇒「どう接したら。誰からアプローチしたらいいか」

地域課題		7つの構成要素に分類
5-1	どの機関がどんなことをしているか分かるものがほしい	地、当、家
5-2	町会などの地域コミュニティ	社、人
5-3	高齢分野との連携のハードル高い	人、家
5-4	本人の生活や困りごとを聞いてくれる人	社、人
5-5	登録しなくても使える地域活動支援センター	社
5-6	支援者のための相談窓口	人
5-7	支援者へ行政資源の情報提供をしてくれる人（行政支援コーディネーター）	人
5-8	民生委員と顔の見えるつながり	人
5-9	NPO、民間団体の支援を知る機会	地、当、家

第6回 「家族を含めたご本人の支援について」
⇒「苦しい本人を救う方法」

地域課題		7つの構成要素に分類
6-1	個別支援をチームにする仕組み作り	地
6-2	分野別になっている取りまとめ役割（基幹）	地
6-3	親・子の支援者の連携	地
6-4	医療面・専門職が不足	医、人
6-5	相談窓口が複数になっている連携と情報共有（福祉事務所のチーム参加）	地、人
6-6	ピアサポーター・ペアレントメンターの活用	当
6-7	各機関間の情報共有と動かす仕組み	地

地	医	住	社	当	家	人
地域精神 保健及び 障害福祉	精神医療 の提供体 制	住まいの 確保と居 住支援	社会参加	当事者・ ピアサポ ーター	精神障害を 有する方等 の家族	人材育成

